

飛耳長目〈第15回〉開催概要

日時	令和5年8月22日(火) 午前10時～午前11時30分
場所	安曇野市役所本庁舎 共用会議室307
テーマ	公園改善点や室内の遊び場について 安曇野市の公園の改善点や希望・提案
参加者	一般社団法人 笑顔の花 4人

インクルーシブ公園・遊具について

参加者 市内に住む難病児の家族から「病気や障害の子も楽しめる遊具があり家族も安心して出かけられる公園がほしい」、幼い子を持つ母親から「おむつ型のブランコ」を探しているといった声があり、子育ての現場に関わる仲間が集まり活動がスタートした。インクルーシブ公園とは障がいの有無に関わらず、誰もが一緒に楽しく遊べる公園のこと。現状は、身体や知的に障害のある子が利用しにくく思うように遊べない。家から出られない子どもたちは同世代の子どもたちが遊んでいる様子を見る機会が減るため、発達が遅れてしまったり、遊びやチャレンジする機会を奪われて笑顔が減ってしまったりする。インクルーシブ遊具が設置されれば、遊具を媒介として、一緒に遊ぶことができるようになり、彼らの発達や表情の豊かさに大きな影響を与えるのではないかと考える。障害の有無、年齢・性別・国籍など違う特性や能力を持った子どもたちが同じ空間の中で、それぞれの遊び方で一緒に楽しむことができる。インクルーシブ遊具は遊ぶ人を選ばないため、学校ではなかなか出会うこともできない多様な子どもたちと同じ環境で様々な違いを見たり知ったり体験できる。公園が子どもたちにとって、さまざまな違いを知り、お互いを尊重して相互理解を深める場所になれば、これまでは遊びに行くことを遠慮していた親子でも、安心して遊びに行くことができる。あらゆる個性や背景を持つ子どもたちが、一緒に混ざり合って遊ぶことで、多様性への相互理解を深め、インクルーシブな地域社会につながる。それは子どもたちだけでなく、付き添う親にとっても、多くの気づきを得られる場になる。

例えば、背骨の発達が遅くサポートが必要な子さんのために作られたオムツ型ブランコというものがある。他の例としては、車イスごと乗って揺らすことができる遊具、車イスの高さでも遊べる砂場、転んでも安全で柔らかいゴムチップの地面、車椅子でも囲めるテーブル、急な飛び出しを防ぐフェンス、障害者用区画のある駐車場、誰でも利用しやすいトイレなどがある。遊具を置くだけでは一緒に楽しむことにつながらない。分断が起きない環境を育むことも大切で、多様な子が一緒に過ごし、「あの子はそういう子なんだ」とそんな優しい心が育つ公園が安曇野にできたら嬉しい。

参加者 インクルーシブ遊具というのは、説明不要で見た感じでいろんな遊び方ができたりするもの。従来のバリアフリーとは違って、障害を持つ子だけではなく、小さなお子さんや外国人で日本語が得意でないお子さんでも遊べる。また1人のお子さんが遊んでいると他の子が遊べないということがなく、みんなで遊べる。既存の遊具は遊ぶ人を選ぶ一方、インクルーシブ遊具は遊ぶ人を選ばない。市内に公園は40ヶ所以上あり、トイレや道、駐車場などのバリアフリー化が進められていて本当に感謝しているが、もう少し子どもが安全で遊べて、かつ障害を持つお子さんたちも遊べるような場所にしていただけると嬉しい。

市長 姉妹都市提携を結んでいる埼玉県三郷市で開催された「三郷サミット」での視察先が、三郷市にあるインクルーシブ公園だった。その時柔らかい床や、オムツ型のブランコなどを見た。開園時には必ず1~2人の指導員や保育士みたいな方がついて、介助等をしていると聞いた。そこはまさにインクルーシブで、障害のある方とか小さい方だけじゃなくて、健常の方も普通に來ていて一緒に遊べる場所だった。それをやれたら本当に良いと思う。

参加者 全部をインクルーシブにするっていうよりも、今ある公園の中のブランコの1つがオムツ型になるっていうだけでも大きな進歩。

市長 全部オムツ型にすればいいのかどうかは別として、リニューアル時に取り入れることはできると思う。老朽化してきていて、更新しなければいけない遊具もあるので。

部長 今いろんな公園を計画的に更新しているところなので、そのタイミングに合わせてやれば。

市長 三郷市の人口はうちより遥かに多い一方、面積は狭い市だから、恐らくインクルーシブの公園が1つあれば、どこからでも来やすい。安曇野市はそうはいかない。

参加者 インクルーシブ遊具が設置されているかというのも実際公園に行かないと分からないことが無いよう配慮してもらいたい。

市長 今こども園の整備を進めていて、全ての園庭を芝生にする計画。結構お金はかかるが、子どもたちが裸足で遊んで、転んでもいい園庭にしようと思っている。維持に関しても、会社に委託するのではなく、シルバー人材センターに依頼してできれば費用を抑えられるかもしれない。自動で芝刈りをする機械を導入しているところもある。インクルーシブ遊具はお金は何とかかなると思うが、どの辺まで進めるかだと思う。

参加者 人の配置となるとハードルが高くなってしまふ。安定して人が集まり、常に賑わうことが見込めれば計画できると思うが。それよりも、遊具を老朽化して替えるんだったら、ハードルの低い緩やかな遊具に変えられたら、と考えていた。

参加者 タコ公園のブランコ1個がおむつ型になるっていうだけでも、「市ってこんなに早く対応してくれるんだ」というようにお母さんたちが希望を持てる。インクルーシブ遊具が揃った公園というよりは少しずつ変えていき、後から見たときにインクルーシブな公園ができて、といったふうになれば。

市長 今後緊急に直す公園はあるか。ブランコの板を1個変えるだけなら、業者に聞けばやってくれるのではないか。来年度遊具更新の予定があれば、予算の段階で組み込めば、そんなに難しい話では無い。

課長 今年度見直しをしているので今は無いが、また考える。

参加者 今後も会として継続して活動していくので、私達と一緒に情報を共有しながら進めてもらうことは可能か。

市長 できる。そ一社というわけではないが、上田市に県内保育園の遊具の約7割を手掛けている会社があって、過去安曇野市にも寄付して下さるなど、結構社会貢献をしている。インクルーシブ遊具についても相談にのってくれると思う。

市長 どういう順番で更新していくのか。年次計画は作っているのか。

課長 点検し、危険ですぐ対応しないといけない状態であれば直ちに更新する。他は各年で計画していく。計画は今年度で10年経つので、今後10年分の更新計画を立ていく。

部長 こども園も改修があれば取り入れることも考えられる。三郷西部の工事はかなり進んでいるので難しいが。

市長 三郷東部はまだこれからで園庭は全部直すので、その際に遊具も一緒にやれば。

参加者 遊具で保育園を選ぶ親御さんもいるらしい。

市長 園庭を全面芝生化にすると発表したところ、問い合わせがたくさん来た。しかも今年県が園庭の補助金制度を新設したが、補助金額が少なく全く足りなくて担当者に聞いたら、「安曇野市の園庭が広すぎる」と言われた。調べたら安曇野市の園庭は他自治体の園庭よりはるかに広いと分かった。

参加者 それは子どもを遊ばせたい。

市長 全面芝生化でお子さんが自由に裸足で遊べるようにするというのが安曇野市の売り。

参加者 そこに少しでもインクルーシブ遊具が入っていると良いものになる。

市長 子どもの広場もそうだが、園庭にいれてもいい。三郷東部は間に合うので何か入れる。

屋内遊戯場について

参加者 気温や天候に左右されず、年中楽しむことができる屋内遊戯場の実現について話をしたい。主にお母さんたちにアンケートをとっていきにつれて、「インクルーシブ遊具もすごく嬉しいし欲しいんだけど、室内遊戯場が欲しい」という声もたくさんあった。こういった施設があることで、さまざまな運動や遊びを提供し、子どもたちの運動能力の発展につながったり、交流が促進され、コミュニケーション能力や社会的なスキルも向上したりする。現状では家の中でスマホやゲームをし、ショッピングセンターへ行くくらいしか選択肢が無い中で、室内で遊べる場所ができれば市民の希望につながる。

参加者 国営アルプスあづみの公園に遊びに行ったが、マシュマロドーム等の遊具が熱くて遊べなかった。木陰もあるが長くいれず、大型商業施設に直行した。大型商業施設なら本屋さんに行ったりペットショップを見ながら歩けるので助かる。子どもはとにかく歩き回ったり、動いたりできる場所があれば満足してくれる。

参加者 1歳の息子がいるが、夏暑くて夕方5時半以降でないと日が強すぎて遊ばせられない。大阪出身で、この夏も暑さを覚悟して帰省したが、ショッピングセンターがたくさんあるのですぐに避難できて意外となんとかなった。子どもはとにかく走りたがる。立派なものよりも、とにかく動き回れる場所があれば助かる。

市長 体育館みたいなどころの改造でもいいのか。

参加者 もちろん。室内遊戯場新設の難易度の高さをお聞きしたい。市としても作りたいという思いはあると思うが、お金がかかることなので。

参加者 スイス村の2階はやスワンガーデンなど、空いている商業施設は利活用できないのか。半官半民みたいな形で、民間のノウハウを活用していく必要があると思う。

市長 場所があれば。また0から作ったらかなりの費用が必要。実は新たに使える空間や施設が足りない。他市町村では廃校を活用した例があるが、安曇野市は廃校する学校がない。体育館クラスの広さがあれば遊戯場としてはいいと思う。商業施設は持ち主の意向等を確認して必要があり、簡単には手が出せない。またテナントは社会貢献というより営利目的のため、費用が驚くほど高い。どこか1ヶ所だけでよければお金をかけてやれるが、5ヶ所10ヶ所となると実現は難しい。

安曇野市は都市計画が異常に厳しい。穂高地区が合併前の乱開発でスプロール化したことを受けて、合併当初にとっても厳しい決まりを作った。5000平米以上の開発許可は議会の認可が必要という他にない条例。市街化区域と市街化調整区域の線引きはあったが、条例を作るときに国との交渉で廃止してしまった。そのため、代わりに新たに何かしようと思うととても厳しい。地主さんも使っていない農地があっても、それを農地転用して開発するのにとてもハードルが高い。個人宅も厳しい基準があって、新たに建築する時は3点が道路か既存の集落に接していないと駄目。面積制限もあって一定規模以上でない駄目。

部長 集落の中で開発は進めているというか誘導させてもらっている。面積は緑地を設けられるようにといった目的のもの。

市長 屋内の遊戯施設を作るとなるととても大変。以前は地方自治体が事業主体のときは、農地転用の緩和措置があったが、国の法律が変わり緩和措置が無くなった。だから市役所を建設するにも農地転用ができず場所がなくて、中学校の跡地を使っている。博物館や弓道場、市民活動センター等作りたいという声もあるが、いざ検討すると使える土地がない。安曇野市に工場を建てたいという企業はたくさんあるが、使える土地が無くて工場を建てられない。それが足を引っ張っているところがある。景観を守るのはもちろん大事だが、市民がどうやって暮らすかという観点から言うと、見直しをしないといけない段階に来ている。使える土地がないから既存の施設に空きがあればいいが、なかなか空かない。「小学校を潰して」という話なら別だが、前職で県内77市町村全部歩く中で、小学校を廃校にした集落は、朝になると子どもたちがスクールバスに乗ってよそへ行ってしまい、夕方まで帰って

こないと実感した。昼間高齢者ばかりの地域になり灯が消える。だから小学校を潰すというのはなかなかやっけてはいけないことだと思っている。

参加者 条例の改正までいなくても、但し書きで対応できないのか。

市長 「市長が特に認めたもの」という特任事項があるのが一般的で、それがあれば広域的な観点や経済的な理念の観点で認めるといったことが考えられるが、それが無い。条例の見直しがあると思うがいつか。

課長 令和7年に見直し予定。

市長 条例を変えないと、ありとあらゆる施設ができない。例えば三郷のエルサの南側は松本市になるため大型施設が並んでいるが、北側は安曇野市の条例に縛られていて、大型施設の隣であっても新たな施設が作れない。何か新しいことをやろうとすると全て土地の問題が生じる。遊戯施設であっても、なかなか難しい。

既存の児童館やこども園・公園の活用について

参加者 土日や保育園・小学校帰りに子どもたちがうちに遊びに来た時、遊ばせられる所がない。

市長 今児童クラブは「入りたい」という要望が結構あり、対象年齢を伸ばす努力をしている。

参加者 児童クラブはいろいろ制約が多く、子どもたちが喜んで行く場所にはなっていない。

参加者 児童クラブの登録者として児童館を使う子どもはいるが、一旦家に帰ってから来館者として児童館に遊びに来るといふ子どもはあまりいない。小さいお子さんを持つお母さんに聞いても、児童館を積極的に利用しているという声は少ない。そのため、室内遊戯場が欲しいという声上がっている。

市長 ただ子どもたちが学校帰りに行けるような室内遊戯場となると市内に1ヶ所じゃ足りない。

参加者 そのとおりなので分散型で作りたい。まずは1つ作って様子を見るというのはどうか。

部長 1つできると他の地域から「何であそこの地域だけ」「こちらにも欲しい」といった要望がかなり出ると予想される。

参加者 親からすると、室内で子どもが遊べる場所があるなら利用料を支払ってでも使いたい。いちいちお金を払うのはハードルが高いので、月2000円の月額制とか。民間企業が指定管理者となり運営すれば、お金を取りやすくなるのではないか。

市長 市の事業で児童のための施設で利用料金を取ることが受け入れられるかどうか分からない。子どもの養育に金かけずに済むよう今一生懸命やっているところで、たとえ1日100円でもお金がかかるというのは、説明しにくい。民間施設ならまだしも、市営施設で金取るのかという方は結構いる。いっそのことどっかの業者さんがやってくれるといいが、多分事業として成り立たない。100円取って100人来ても1万円にしかならない。

部長 他自治体の類似施設が大体無料だと思うので、安曇野市だけなぜお金を取るのかと言う話になると想定される。

参加者 子どもが産まれた頃はしばらく家で面倒をみようと思っていたが、歩き始めると家の中だけでは子どもを発散させるのはしんどく、あきらめた。今は保育園に預けているが、3歳未満児を保育園に預けると月4万5000円もかかる。「月5000円で子どもが遊べる屋内施設があれば自分で面倒を見る」という人もいると思う。別にお金取ることにはこだわりは無いが、やはり維持管理のためには、お金があった方がやりやすいと思う。民間施設だと30分あたり500円くらい取られてしまう。それが1日で1000円くらいなら。あづみの公園は入場料があるが、親としたらあれくらいなら喜んで払って遊ぶ。

市長 寄付分は別として、一律に取ることは難しい。子ども食堂に行くことに対して変な差別が生まれているとも聞いている。財政的に厳しい人からは取らないようにして、保護者の貧富の差が子どもに反映されないために取り組んでも、それが心理的負担になったりするので、相当慎重にやらないといけない。とにかく親御さんの経済状況を子どもに絶対に付加させないのが大きな目的。

市長 保育園・こども園に土日に行って勝手に庭で遊ぶわけにはいかないのか？

部長 何かあったときの対応が難しいため、入れないようにしている。最近は物騒にそうってきていて、物を壊したり、園の建物内に入ったり、外に出ている子どもの所有物をどうにかしてしまうといった恐れがある。小学校のグラウンドは出入りできるので、自分たちで遊ぶな

らどんどん遊べばいいと思う。近くの学校では親子でサッカーやキャッチボールをやっている人は見かける。

参加者 室内遊具が難しいとなると、せめて公園にも屋根があり、日よけができる場所がほしい。遊具も熱を持ってしまって大人でも熱くて長く遊べない。

参加者 商業施設の中にはお金払えば遊べる場所があるが、2人で2時間遊ぶと2,000円くらいかかってしまう。そうすると家の中でゲームする、という選択肢になってしまう。

参加者 休憩スペースとメインの遊具が日光で熱くならないような対策がされた公園があれば使いやすくなる。もしくは体を冷やす噴水やミスト、水遊び場の設置。

参加者 穂高の常念公園は滑り台と水辺があるので、夏でも結構遊べる。ただ木が一切ないので日陰がほしい。

参加者 よくよく考えたら室内遊戯というよりは、既存の公園を暑くても寒くても使える場所に変えてもらい、大人も使えるようになれば、それこそインクルーシブになると思う。

市長 高齢者が遊んでてもいい。今は高齢者が公園で遊んでると熱中症になってしまう。

参加者 屋外の公園に屋根があるっていうのがイメージできない。悲しいが、今までは必要なかった対策が必要になっているということ。

部長 よくステージみたいな屋根があるところがあるが、遊具はない。遊具の上に屋根があるっていうのはあまりない。

参加者 明科のせせらぎがとても良い施設で結構使わせてもらっているが、あまり使われてない。そこを室内遊戯場にできないか。

課長 近くに住んでる人がいるし、建物の中もスペースがあまりない。遊具はやはり難しい。

市長 木を生やすにも10年はかかる。

部 長 木の管理・処理に莫大な金額がかかるので大変。ある程度の高さで切つていかないと、クレーン車を呼ぶためにもかなりお金がかかる。

参加者 国営アルプスあづみの公園は結局外。あづみの学校内は走れない。

参加者 松川のあづみの公園だったら走れる場所がある。

市 長 堀金の常念ドームは？

参加者 風は通っているが、外気と同じ温度で暑い。密閉空間ではない。

市 長 暑さ対策は考える。全面を覆うのは不可能なのでやるとしたら部分的なもの。東屋みたいなものを広めに設置するとか。

体育施設の活用について

参加者 ANCアリーナは室内で涼しいし、駐車場もあるので使いやすい。いつ行っても空いているので、インストラクターみたいな方を連れてきて、ちょっとした遊具を使って遊べるプログラムを提供したらどうか。それならあまりお金をかけずにできるので、市と協力してやれる方法を考えたい。

参加者 以前武道場でトランポリンを使い、障害のある子や地域の子みんなで遊んだ。トランポリン1個でも2時間あつという間で、中学生が組み立て、片付けはみんなで協力し合ってやった。親も結構楽しんでいて、結果的にインクルーシブな遊び方になっていた。遊び方は子どもたちが無限に生み出すので、場所さえあればトランポリン1個にしても十分遊べる。

参加者 持ち出しできるインクルーシブ遊具を体育館で活用できるといい。

参加者 子どもをアリーナに連れていくが、ただ走っているだけで遊具が無い。クッションの積み木やマットなど、子どもがちょっと楽しめる遊びがあるといい。

市 長 あまりハードルを高くせず、最初は無料開放日のようなものを始めたらいいかもしれない。ANCに限らず各地区体育館で空いている日があれば、無料開放日を作ってみたら。ただ、先ほど使っていないという意見もあったが、現状では結構予約が埋まっている。

部 長 空調がついてるのがANCだけ。

参加者 3歳未満の子どもは保育園に預けるしかなく、土日もスーパーやホームセンターに連れてくしか本当に選択肢がない。もし空調が効いてて走れるならとてもありがたい。

市 長 ANCの実際の使用状況を確認しないと何とも言えないので、すぐには返事できないが、開いてる日で活用できれば。指定管理なのでできないことはないと思う。

参加者 何も無いスペースでも野外でも、この会議室くらいの広さに屋根があるだけで子どもは走れる。とにかく走りたがる。子どもがのびのび遊べる場所を作ってあげるのも大人の責任だと思う。

市 長 公園やインクルーシブ遊具、日陰対策を含めてもう少しちょっと考える。木を生やすのは難しいし、屋内はなかなか場所が空かない。

参加者 従来は親が子どもに公園に遊びに行っておいで、というのが多かったと思うが、帰省時に大阪でいろいろな施設に行く中で、室内施設だと親と一緒に楽しめる広い場所が欲しいと感じた。

市 長 大阪くらい人口密度があると民間ベースでも人が十分に来て、大人から料金をとればそれで成り立つ。ただ、市役所は土日も開放しているので使ってほしい。1階なら走れる。4階は景色がよく、親子連れや勉強する学生がよく利用している。

参加者 勉強している人がいると、ちょっと外行こうねってなる。

市 長 それはそれぞれの使い方。

参加者 解放してくれるだけで本当にありがたい。

市 長 今日は貴重な意見をいただいたので、検討させていただく。よくある言葉だけの検討ではなく、本気で検討する。やれることはすぐにやり、来年予算をつけるようにする。屋内の話はこれから要検討。